

政策 19 「足腰の強い産業育成に向けた経営基盤の強化」

政策 19 「足腰の強い産業育成に向けた経営基盤の強化」は、農林水産業や製造業などの経営者が、時代のニーズを的確に捉え、戦略的な経営を展開できるよう、経営基盤の整備・強化を目指す様々な施策で構成されている。

1. 政策 19 の認知度

1 1 一般県民

一般県民全体における高認知度群は 25.1%、低認知度群は 74.9%である。

一般県民における、性別、65 歳年齢区分別での高認知度群の割合は、

性別では、男性（30.3%）が女性（20.1%）よりも高い。

65 歳年齢区分別では、65 歳以上（37.5%）が 65 歳未満（20.7%）よりも高い。

一般県民の圏域別での高認知度群の割合は、

栗原圏域（30.3%）が、回答者全体と比較して 5.2 ポイント高い。

回答者全体と比較して、石巻圏域（17.4%）が 7.7 ポイント、仙台圏域（18.7%）が 6.4 ポイント低い。

(%)

政策 19 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計
	知っていた	ある程度知っていた		あまり知らなかった	知らなかった		
一般県民全体	2.1	23.0	25.1	55.7	19.2	74.9	100.0

性別	男性	3.0	27.3	30.3	55.4	14.3	69.7	100.0
	女性	1.1	19.0	20.1	56.1	23.8	79.9	100.0
年齢別	65 歳未満	1.3	19.4	20.7	57.8	21.6	79.4	100.0
	65 歳以上	4.3	33.2	37.5	50.1	12.3	62.4	100.0

圏域別	仙台	0.0	18.7	18.7	55.5	25.8	81.3	100.0
	仙南	1.3	20.6	21.9	58.8	19.3	78.1	100.0
	大崎	2.7	26.6	29.3	53.2	17.6	70.8	100.0
	栗原	3.4	26.9	30.3	53.0	16.7	69.7	100.0
	登米	2.8	25.6	28.4	56.4	15.2	71.6	100.0
	石巻	1.1	16.3	17.4	57.6	25.0	82.6	100.0
	気山沼・本吉	2.6	22.7	25.3	57.1	17.6	74.7	100.0

有効回答者数 1,588 名

政策 19「足腰の強い産業育成に向けた経営基盤の強化」

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高認知度群は 36.7%、低認知度群は 63.2%である。

市町村職員の圏域別での高認知度群の割合は、

回答者全体と比較して、登米圏域（83.3%）では 46.6 ポイント、気仙沼・本吉圏域（60.5%）では 23.8 ポイント高い。

回答者全体と比較して、仙台圏域（27.8%）では 8.9 ポイント、仙南圏域（31.0%）では 5.7 ポイント低い。

学識等全体における高認知度群は 50.8%、低認知度群は 49.3%である。

(%)

政策 19 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計	
	知っていた	ある程度知っていた		あまり知らなかった	知らなかった			
市町村職員全体	3.0	33.7	36.7	53.9	9.3	63.2	100.0	
圏域別	仙台	2.6	25.2	27.8	61.7	10.4	72.1	100.0
	仙南	5.5	25.5	31.0	56.4	12.7	69.1	100.0
	大崎	2.5	32.9	35.4	55.7	8.9	64.6	100.0
	栗原	0.0	33.3	33.3	66.7	0.0	66.7	100.0
	登米	0.0	83.3	83.3	16.7	0.0	16.7	100.0
	石巻	4.5	31.8	36.3	40.9	22.7	63.6	100.0
	気仙沼・本吉	2.6	57.9	60.5	39.5	0.0	39.5	100.0

有効回答者数 332 名

学識者等全体	7.5	43.3	50.8	44.8	4.5	49.3	100.0
--------	-----	------	------	------	-----	------	-------

有効回答者数 67 名

2. 政策 19 の関心度

1 1 一般県民

一般県民全体における高関心度群は 59.3%、低関心度群は 40.7%である。

一般県民における、性別、65 歳年齢区分別での高関心度群の割合は、

性別では、男性（66.7%）が女性（52.4%）よりも高い。

65 歳年齢区分別では、65 歳以上（68.7%）が 65 歳未満（56.0%）よりも高い。

一般県民の圏域別での高関心度群の割合は、

回答者全体と比較して、気仙沼・本吉圏域（65.7%）では 6.4 ポイント、栗原圏域（65.2%）では 5.9 ポイント高い。

石巻圏域（51.4%）では、回答者全体と比較して 7.9 ポイント低い。

(%)

政策 19 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計
	関心が あった	ある程度関 心があった		あまり関心 がなかった	関心が なかった		
一般県民全体	14.9	44.4	59.3	33.5	7.2	40.7	100.0

性別	男性	18.8	47.9	66.7	28.3	5.1	33.4	100.0
	女性	10.9	41.5	52.4	38.5	9.2	47.7	100.0
年齢別	65 歳未満	12.4	43.6	56.0	37.0	7.1	44.1	100.0
	65 歳以上	21.6	47.1	68.7	23.8	7.6	31.4	100.0

圏域別	仙台	8.9	46.9	55.8	35.7	8.5	44.2	100.0
	仙南	13.8	40.9	54.7	38.4	6.9	45.3	100.0
	大崎	17.1	42.5	59.6	33.8	6.6	40.4	100.0
	栗原	21.0	44.2	65.2	28.8	6.0	34.8	100.0
	登米	14.8	45.2	60.0	32.4	7.6	40.0	100.0
	石巻	9.3	42.1	51.4	38.3	10.4	48.7	100.0
	気仙沼・本吉	15.7	50.0	65.7	28.5	5.8	34.3	100.0

有効回答者数 1,616 名

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高関心度群は 59.3%、低関心度群は 40.7%である。

市町村職員の圏域別での高関心度群の割合は、

回答者全体と比較して、登米圏域(100.0%)では 40.7 ポイント、栗原圏域(85.7%)

では 26.4 ポイント、気仙沼・本吉(71.1%)では 11.8 ポイント高い。

仙台圏域(52.6%)では、回答者全体と比較して 6.7 ポイント低い。

学識等全体における高関心度群は 83.4%、低関心度群は 16.6%である。

(%)

政策 19 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計	
	関心があった	ある程度関心があった		あまり関心 がなかった	関心が なかった			
市町村職員全体	11.4	47.9	59.3	37.4	3.3	40.7	100.0	
圏 域 別	仙台	8.6	44.0	52.6	44.8	2.6	47.4	100.0
	仙南	8.9	46.4	55.3	41.1	3.6	44.7	100.0
	大崎	11.4	48.1	59.5	35.4	5.1	40.5	100.0
	栗原	0.0	85.7	85.7	14.3	0.0	14.3	100.0
	登米	25.0	75.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	石巻	18.2	36.4	54.6	36.4	9.1	45.5	100.0
	気仙沼・本吉	15.8	55.3	71.1	28.9	0.0	28.9	100.0

有効回答者数 334 名

学識者等全体	36.4	47.0	83.4	13.6	3.0	16.6	100.0
--------	------	------	------	------	-----	------	-------

有効回答者数 66 名

3. 政策 19 の重視度・満足度

3-1 回答者全体

一般県民の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は 70.0 点で、県民は「ある程度重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は 50.0 点で、県民は「やや不満である」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は 20.0 点で、かい離度は「大」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 41.3%と推定できる。

市町村職員の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は 70.0 点で、県民は「ある程度重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は 50.0 点で、県民は「やや不満である」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は 20.0 点で、かい離度は「大」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 38.0%と推定できる。

学識者等の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は 80.0 点で、県民は「重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は 60.0 点で、県民は「ある程度満足している」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は 20.0 点で、かい離度は「大」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 38.8%と推定できる。

政策 19「足腰の強い産業育成に向けた経営基盤の強化」

【一般県民】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	70.0	50.0	20.0
第1四分位数(25パーセントイル)	60.0	40.0	20.0
第3四分位数(75パーセントイル)	80.0	60.0	20.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	21.8	(78.2)
満足度 60点未満の割合		63.1
要検討領域にある回答者全体の割合		41.3

有効回答者数；重視度 1,585人、満足度 1,567人

(一般県民)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策19重視度	政策19満足度
度数	有効	1585	1567
	欠損値	136	154
平均値		69.00	49.76
平均値の標準誤差		.447	.428
中央値		70.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		17.815	16.927
分散		317.386	286.517
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセントイル	25	60.00	40.00
	40	70.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	75.00	55.00
	75	80.00	60.00

【市町村職員】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	70.0	50.0	20.0
第1四分位数(25パーセントイル)	60.0	45.0	15.0
第3四分位数(75パーセントイル)	80.0	60.0	20.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	19.4	(80.6)
満足度 60点未満の割合		57.4
要検討領域にある回答者全体の割合		38.0

有効回答者数；重視度 335人、満足度 331人

(市町村)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策19重視度	政策19満足度
度数	有効	335	331
	欠損値	3	7
平均値		68.37	53.16
平均値の標準誤差		.886	.765
中央値		70.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		16.217	13.918
分散		262.989	193.715
範囲		90	100
最小値		10	0
最大値		100	100
パーセントイル	25	60.00	45.00
	40	65.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	70.00	60.00
	75	80.00	60.00

【学識者等】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	80.0	60.0	20.0
第1四分位数(25パーセントイル)	65.0	50.0	15.0
第3四分位数(75パーセントイル)	85.0	65.0	20.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	9.0	(91.)
満足度 60点未満の割合		47.8
要検討領域にある回答者全体の割合		38.8

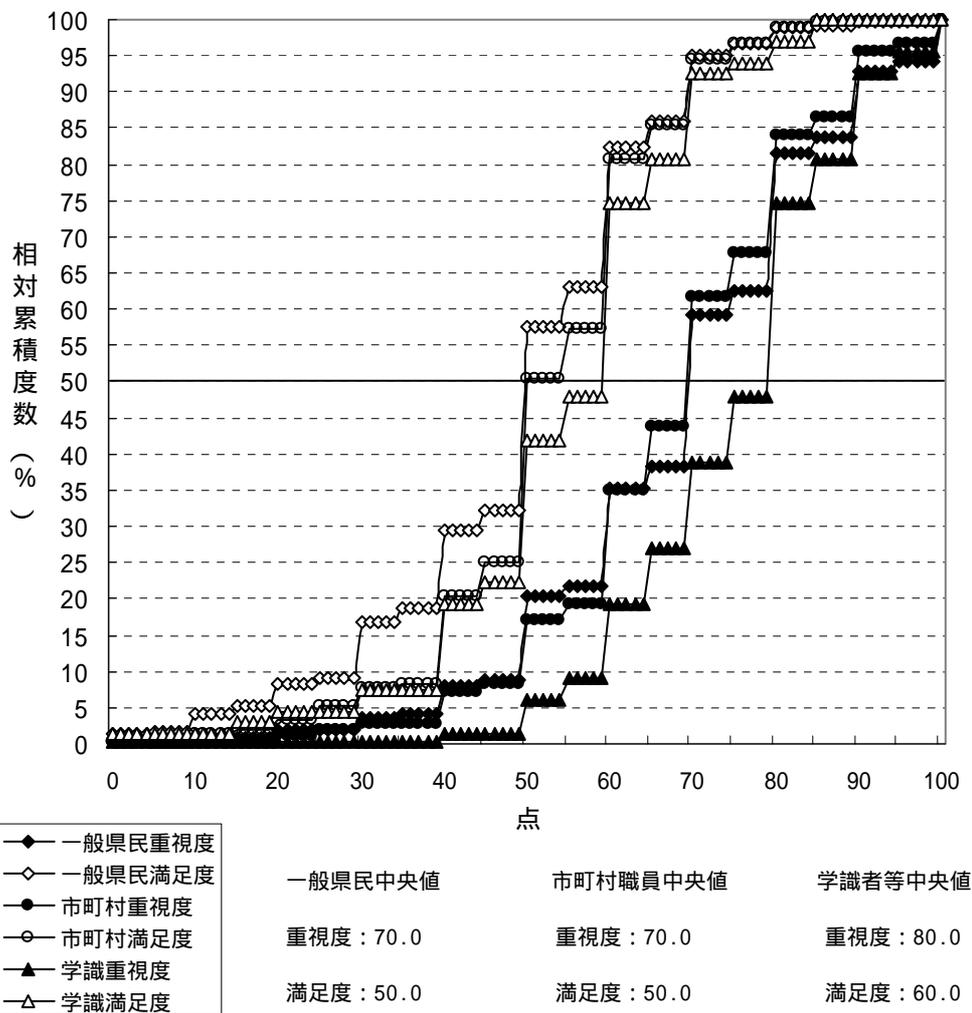
有効回答者数；重視度 67人、満足度 67人

(学識者等)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策19重視度	政策19満足度
度数	有効	67	67
	欠損値	2	2
平均値		75.30	55.07
平均値の標準誤差		1.612	1.812
中央値		80.00	60.00
最頻値		80	60
標準偏差		13.197	14.835
分散		174.152	220.070
範囲		60	75
最小値		40	10
最大値		100	85
パーセントイル	25	65.00	50.00
	40	75.00	50.00
	50	80.00	60.00
	60	80.00	60.00
	75	85.00	65.00

政策 19 「足腰の強い産業育成に向けた経営基盤の強化」

「政策19 足腰の強い産業育成に向けた経営基盤の強化」



3 2 性別・年齢区分別 (一般県民)

一般県民における、性別、65歳年齢区分別における重視度・満足度は以下の通りである。

3 2 - 1 性別

重視度の中央値は、男性女性ともに 70.0 点で同じである。

満足度の中央値は、男性女性ともに 50.0 点で同じである。

重視度と満足度の中央値の差は、男性女性ともに 20.0 点で同じである。

重視度の四分位偏差は、男性女性ともに 10.0 点で同じである。

満足度の四分位偏差は、男性女性ともに 10.0 点で同じである。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、男性 43.2%、女性 39.4%と推定できる。

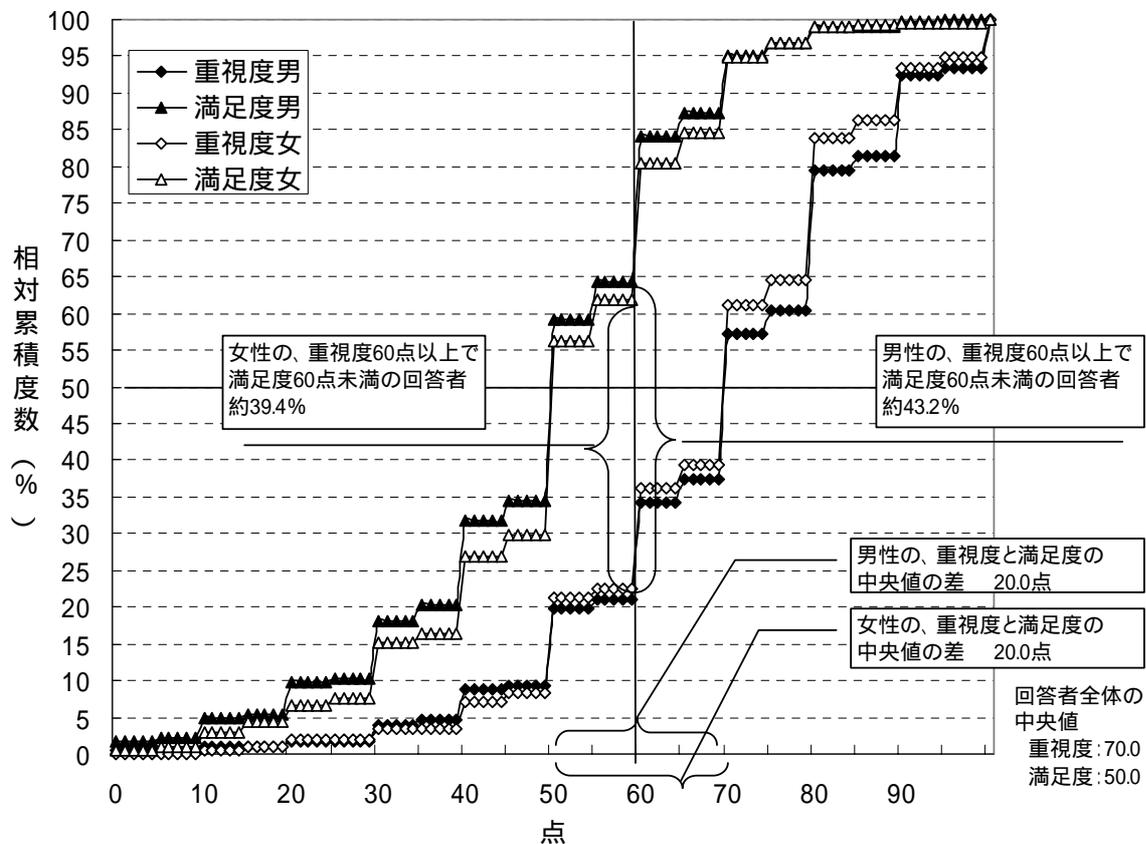
中央値、第 1 四分位数、第 3 四分位数、四分位偏差の値 (点)

		回答者全体	男性	女性
中央値	重視度	70.0	70.0	70.0
	満足度	50.0	50.0	50.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
第 1 四分位数 (25パーセントイル)	重視度	60.0	60.0	60.0
	満足度	40.0	40.0	40.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
第 3 四分位数 (75パーセントイル)	重視度	80.0	80.0	80.0
	満足度	60.0	60.0	60.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
四分位偏差 (第 3 四分位数 - 第 1 四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0
	満足度	10.0	10.0	10.0

要検討領域にある回答者全体の割合 (推定) (%)

	男性	女性
重視度 60 点未満の割合(60 点以上の割合)	21.1 (78.9)	22.5 (77.5)
満足度 60 点未満の割合	64.3	61.9
要検討領域にある回答者全体の割合	43.2	39.4

(一般県民)男性と女性の重視度と満足度



(一般県民)男性の重視度・満足度基本統計量

		政策19重視度	政策19満足度
度数	有効	762	757
	欠損値	41	46
平均値		69.51	48.84
平均値の標準誤差		.665	.629
中央値		70.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		18.351	17.311
分散		336.755	299.687
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	60.00	40.00
	40	70.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	75.00	55.00
	75	80.00	60.00

(一般県民)女性の重視度・満足度基本統計量

		政策19重視度	政策19満足度
度数	有効	805	792
	欠損値	91	104
平均値		68.46	50.85
平均値の標準誤差		.608	.578
中央値		70.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		17.263	16.274
分散		297.997	264.833
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	60.00	40.00
	40	70.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	70.00	55.00
	75	80.00	60.00

3 2 - 2 65 歳年齢区分別

重視度の中央値は、65 歳未満、65 歳以上ともに 70.0 点で同じである。

満足度の中央値は、65 歳未満、65 歳以上ともに 50.0 点で同じである。

重視度と満足度の中央値の差は、65 歳未満、65 歳以上ともに 20.0 点で同じである。

重視度の四分位偏差は、65 歳未満、65 歳以上ともに 10.0 点で同じである。

満足度の四分位偏差は、65 歳未満（10.0 点）が 65 歳以上（12.5 点）よりも小さい。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、65 歳未満 42.7%、65 歳以上 37.0%と推定できる。

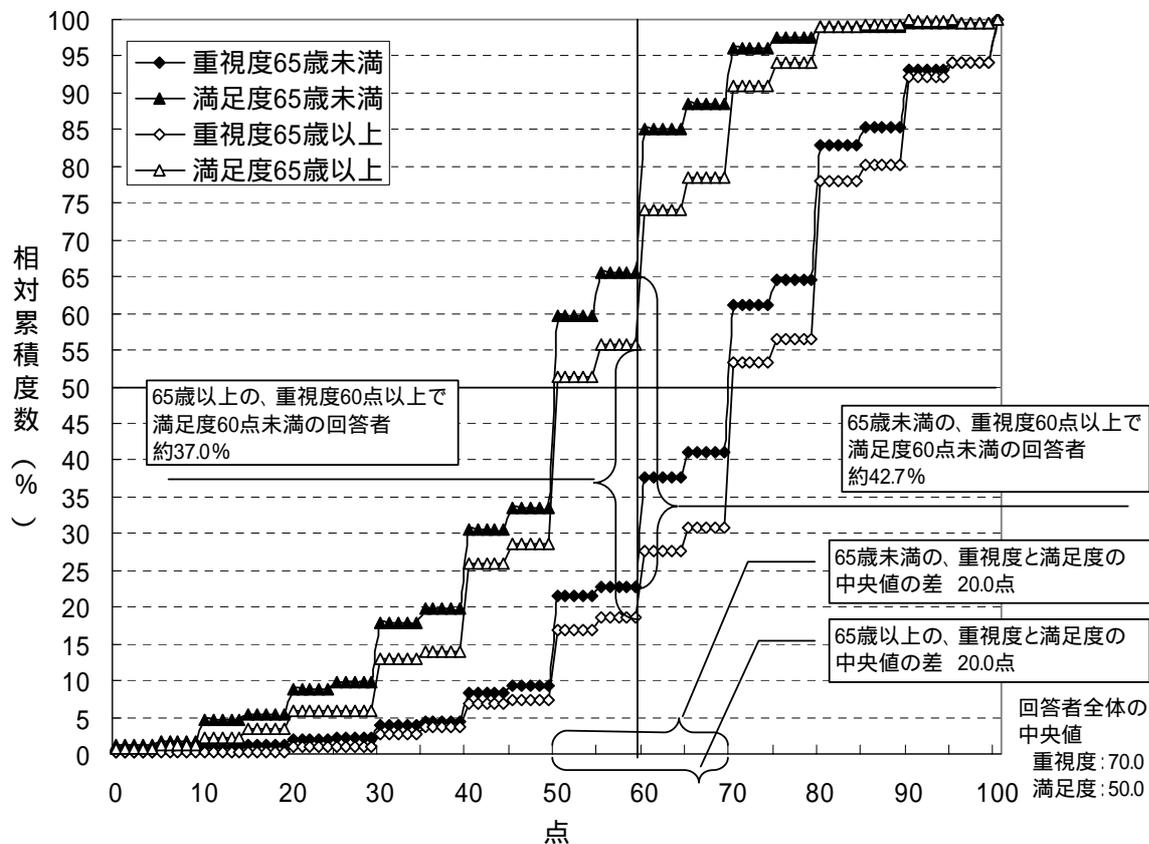
中央値、第 1 四分位数、第 3 四分位数、四分位偏差の値（点）

		回答者全体	65 歳未満	65 歳以上
中央値	重視度	70.0	70.0	70.0
	満足度	50.0	50.0	50.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
第 1 四分位数 (25パーセントイル)	重視度	60.0	60.0	60.0
	満足度	40.0	40.0	40.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
第 3 四分位数 (75パーセントイル)	重視度	80.0	80.0	80.0
	満足度	60.0	60.0	65.0
	かい離	20.0	20.0	15.0
四分位偏差 (第 3 四分位数- 第 1 四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0
	満足度	10.0	10.0	12.5

要検討領域にある回答者全体の割合（推定）(%)

	65 歳未満	65 歳以上
重視度 60 点未満の割合(60 点以上の割合)	22.8 (77.2)	18.7 (81.3)
満足度 60 点未満の割合	65.5	55.7
要検討領域にある回答者全体の割合	42.7	37.0

(一般県民)65歳未満と65歳以上の重視度と満足度



(一般県民)65歳未満の重視度・満足度基本統計量

		政策19重視度	政策19満足度
度数	有効	1174	1159
	欠損値	66	81
平均値		68.13	48.87
平均値の標準誤差		.525	.493
中央値		70.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		17.987	16.783
分散		323.547	281.654
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	60.00	40.00
	40	65.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	70.00	55.00
	75	80.00	60.00

(一般県民)65歳以上の重視度・満足度基本統計量

		政策19重視度	政策19満足度
度数	有効	391	388
	欠損値	66	69
平均値		71.47	52.84
平均値の標準誤差		.858	.844
中央値		70.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		16.960	16.619
分散		287.640	276.179
範囲		80	90
最小値		20	0
最大値		100	90
パーセンタイル	25	60.00	40.00
	40	70.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	80.00	60.00
	75	80.00	65.00

3 3 圏域別 (一般県民、市町村職員)

一般県民の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、回答者全体(70.0点)と5ポイント以上差のある圏域はない。

満足度の中央値は、回答者全体(50.0点)と5ポイント以上差のある圏域はない。

重視度の四分位偏差は、すべての圏域が10.0点で同じである。

満足度の四分位偏差は、登米圏域(5.0点)が回答者全体(10.0点)よりも小さい。

市町村職員の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、登米圏域(80.0点)が回答者全体(70.0点)よりも10ポイント、栗原圏域(75.0点)が5ポイント高く、仙台圏域(65.0点)、仙南圏域(65.0点)、石巻圏域(65.0点)の3圏域が5ポイント低い。

満足度の中央値は、大崎圏域(60.0点)、栗原圏域(60.0点)の2圏域が回答者全体(50.0点)よりも10ポイント、登米圏域(57.5点)が7.5ポイント高い。

重視度の四分位偏差は、気仙沼・本吉圏域(15.0点)、仙台圏域(12.5点)、石巻圏域(12.5点)の3圏域が回答者全体(10.0点)よりも大きく、仙南圏域(7.5点)、登米圏域(6.9点)、栗原圏域(5.0点)の3圏域が小さい。

満足度の四分位偏差は、石巻圏域(10.0点)、気仙沼・本吉圏域(8.8点)の2圏域が回答者全体(7.5点)よりも大きく、仙南圏域(6.9点)、登米圏域(6.9点)、大崎圏域(5.0点)の3圏域が小さい。

政策 19 「足腰の強い産業育成に向けた経営基盤の強化」

【一般県民】

中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値 (点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0
	満足度	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0
	かい離	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0
第1四分位数 (25パーセント)	重視度	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0
	満足度	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	50.0	40.0	40.0
	かい離	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	10.0	20.0	20.0
第3四分位数 (75パーセント)	重視度	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0
	満足度	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0
	かい離	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0
	満足度	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	5.0	10.0	10.0

【市町村職員】

中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値 (点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	70.0	65.0	65.0	70.0	75.0	80.0	65.0	70.0
	満足度	50.0	50.0	50.0	60.0	60.0	57.5	50.0	50.0
	かい離	20.0	15.0	15.0	10.0	15.0	22.5	15.0	20.0
第1四分位数 (25パーセント)	重視度	60.0	55.0	60.0	60.0	70.0	71.3	55.0	60.0
	満足度	45.0	45.0	46.3	50.0	50.0	50.0	40.0	42.5
	かい離	15.0	10.0	13.8	10.0	20.0	21.3	15.0	17.5
第3四分位数 (75パーセント)	重視度	80.0	80.0	75.0	80.0	80.0	85.0	80.0	90.0
	満足度	60.0	60.0	60.0	60.0	65.0	63.8	60.0	60.0
	かい離	20.0	20.0	15.0	20.0	15.0	21.3	20.0	30.0
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	10.0	12.5	7.5	10.0	5.0	6.9	12.5	15.0
	満足度	7.5	7.5	6.9	5.0	7.5	6.9	10.0	8.8

4. 政策 19 各施策の優先度

各施策の優先度は以下の通りである。

回答者全体での各施策の優先度

一般県民では、

第 1 位は施策 4 「中小企業の経営基盤の強化」(33.7%) である。

第 2 位は施策 1 「農業における経営基盤の強化」(29.3%) である。

第 3 位は施策 6 「農協、漁協、商工会等産業関係団体の育成」(15.6%) である。

市町村職員では、

第 1 位は施策 1 「農業における経営基盤の強化」(31.6%) である。

第 2 位は施策 4 「中小企業の経営基盤の強化」(31.3%) である。

第 3 位は施策 6 「農協、漁協、商工会等産業関係団体の育成」(12.0%) である。

学識者では、

第 1 位は施策 4 「中小企業の経営基盤の強化」(43.3%) である。

第 2 位は施策 1 「農業における経営基盤の強化」(19.4%) である。

第 3 位は施策 5 「国際化への対応」(13.4%) である。

性別

一般県民では、

性別毎の各施策の優先度は、男女とも、回答者全体と同じである。

65 歳年齢区分別

一般県民では、

第 1 位は、65 歳未満では施策 4 「中小企業の経営基盤の強化」、65 歳以上では施策 1 「農業における経営基盤の強化」である。

第 2 位は、65 歳未満では施策 1 「農業における経営基盤の強化」、65 歳以上では施策 6 「農協、漁協、商工会等産業関係団体の育成」である。

第 3 位は、65 歳未満では施策 6 「農協、漁協、商工会等産業関係団体の育成」、65 歳以上では施策 4 「中小企業の経営基盤の強化」である。

圏域別

一般県民では、

第1位は、仙台、仙南、石巻、気仙沼・本吉の4圏域では施策4「中小企業の経営基盤の強化」、大崎、栗原、登米の3圏域では施策1「農業における経営基盤の強化」である。

第2位は、仙台、仙南、石巻の3圏域では施策1「農業における経営基盤の強化」、大崎、栗原、登米の3圏域では施策4「中小企業の経営基盤の強化」、気仙沼・本吉圏域では施策3「水産業における経営基盤の強化」である。

第3位は、全圏域とも施策6「農協、漁協、商工会等産業関係団体の育成」である。

市町村職員では、

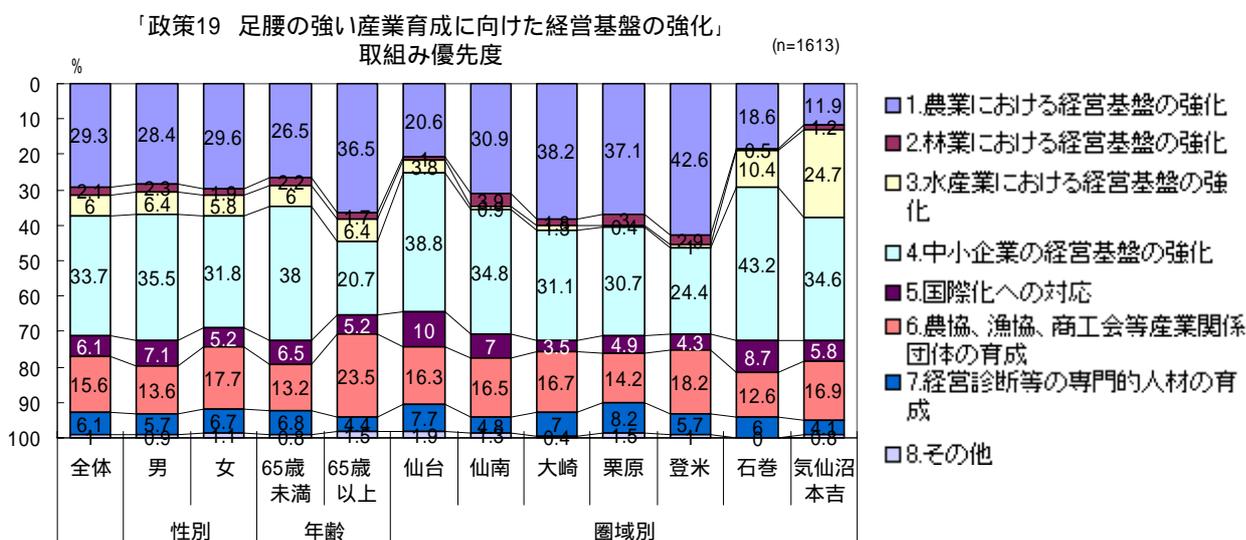
第1位は、仙南、大崎、栗原、登米の4圏域では施策1「農業における経営基盤の強化」、仙台、石巻、気仙沼・本吉の3圏域では施策4「中小企業の経営基盤の強化」である。

第2位は、仙南、大崎、栗原、登米の4圏域では施策4「中小企業の経営基盤の強化」、石巻、気仙沼・本吉の2圏域では施策3「水産業における経営基盤の強化」、仙台圏域では施策1「農業における経営基盤の強化」、登米圏域では施策7「経営診断等の専門的人材の育成」である（登米圏域では施策4と施策7が共に第2位になっている）。

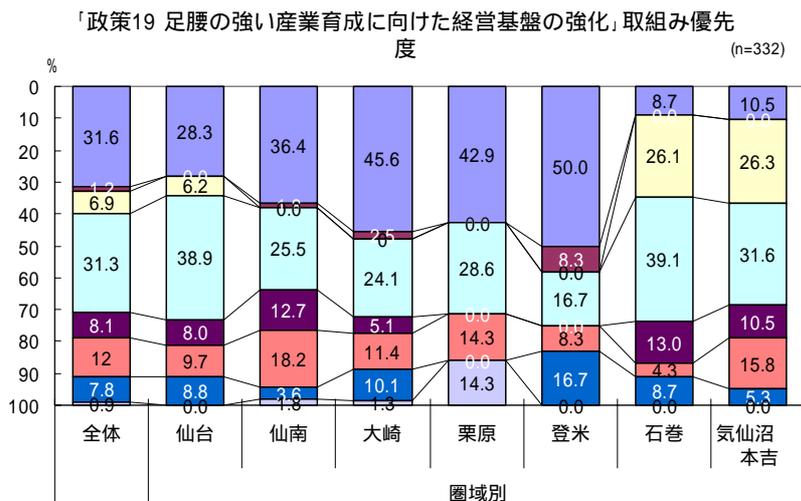
第3位は、仙台、仙南、大崎、栗原、気仙沼・本吉の5圏域では施策6「農協、漁協、商工会等産業関係団体の育成」、石巻圏域では施策5「国際化への対応」である。

政策 19 「足腰の強い産業育成に向けた経営基盤の強化」

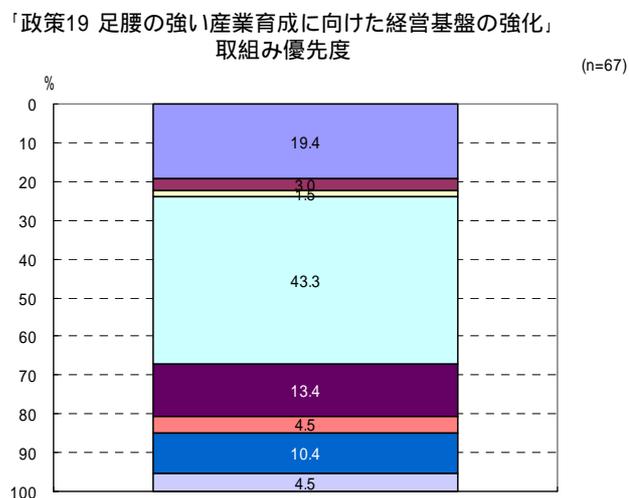
【一般県民】



【市町村職員】



【学識者等】



政策 19 「足腰の強い産業育成に向けた経営基盤の強化」

【一般県民】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体	性別		年齢		圏域別						
			男	女	65歳未満	65歳以上	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
1	1.農業における経営基盤の強化	29.3	28.4	29.6	26.5	36.5	20.6	30.9	38.2	37.1	42.6	18.6	11.9
2	2.林業における経営基盤の強化	2.1	2.3	1.9	2.2	1.7	1.0	3.9	1.8	3.0	2.9	0.5	1.2
3	3.水産業における経営基盤の強化	6.0	6.4	5.8	6.0	6.4	3.8	0.9	1.3	0.4	1.0	10.4	24.7
4	4.中小企業の経営基盤の強化	33.7	35.5	31.8	38.0	20.7	38.8	34.8	31.1	30.7	24.4	43.2	34.6
5	5.国際化への対応	6.1	7.1	5.2	6.5	5.2	10.0	7.0	3.5	4.9	4.3	8.7	5.8
6	6.農協、漁協、商工会等産業関係団体の育成	15.6	13.6	17.7	13.2	23.5	16.3	16.5	16.7	14.2	18.2	12.6	16.9
7	7.経営診断等の専門的人材の育成	6.1	5.7	6.7	6.8	4.4	7.7	4.8	7.0	8.2	5.7	6.0	4.1
8	8.その他	1.0	0.9	1.1	0.8	1.5	1.9	1.3	0.4	1.5	1.0	0.0	0.8

【市町村職員】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体	圏域別						
			仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
1	1.農業における経営基盤の強化	31.6	28.3	36.4	45.6	42.9	50.0	8.7	10.5
2	2.林業における経営基盤の強化	1.2	0.0	1.8	2.5	0.0	8.3	0.0	0.0
3	3.水産業における経営基盤の強化	6.9	6.2	0.0	0.0	0.0	0.0	26.1	26.3
4	4.中小企業の経営基盤の強化	31.3	38.9	25.5	24.1	28.6	16.7	39.1	31.6
5	5.国際化への対応	8.1	8.0	12.7	5.1	0.0	0.0	13.0	10.5
6	6.農協、漁協、商工会等産業関係団体の育成	12.0	9.7	18.2	11.4	14.3	8.3	4.3	15.8
7	7.経営診断等の専門的人材の育成	7.8	8.8	3.6	10.1	0.0	16.7	8.7	5.3
8	8.その他	0.9	0.0	1.8	1.3	14.3	0.0	0.0	0.0

【学識者等】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体
1	1.農業における経営基盤の強化	19.4
2	2.林業における経営基盤の強化	3.0
3	3.水産業における経営基盤の強化	1.5
4	4.中小企業の経営基盤の強化	43.3
5	5.国際化への対応	13.4
6	6.農協、漁協、商工会等産業関係団体の育成	4.5
7	7.経営診断等の専門的人材の育成	10.4
8	8.その他	4.5

政策 19 「足腰の強い産業育成に向けた経営基盤の強化」